

表紙に使用している画像は、小川和紙の工芸紙です。職人の工夫によりいくつかの加工技術を重ね合わせることで複雑な模様の紙に仕上げることが出来ます。和紙に合わせてあしらった2色は黄金色と浅緋色。秋の豊作の稲穂の色と夕焼けの茜色で秋の訪れをイメージしています。

特集1 P.2-3

9月5日誕生
「小川町プライド」を次代へ
**新生議会
始動!!**

特集2 P.4-5

令和4年度
一般会計歳出決算 **認定**
100億6500万円
コロナ禍でも進んだ
小川町色の取組



「二人のハート♥」はいつまでも（裏表紙に関連記事）

No.109 おがき 2023 9月定例会 おがき 埼玉県小川町議会

わたしのひとこと

町民の声
「聴きます×つなぎます」

P.20

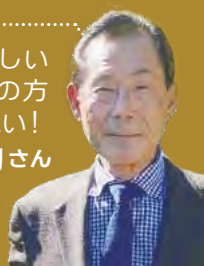


LINE クーポンは
ありがたいです!

高橋永和さん

小川町の素晴らしい
自然をたくさんの方
に知ってもらいたい!

鯨井 均さん



特集3 新シリーズ P.18-19

16人の歩

活性化に
向けて
進み続ける

議 会

START 始 ↓ 動 MOVE

常任委員会

→ 委員会条例に基づき、総務・経済建設・厚生文教の3つの常任委員会を設置。議員は必ずいずれかの常任委員会に所属（任期2年）します。それぞれ所管する事務事業の調査・研究を行い、議案及び請願等を審査します。

議会運営委員会

→ 3常任委員会からそれぞれ委員長ほか1人を選出し、構成されています。

委員長 笠原英彦	副委員長 大戸久一
委員 高橋さゆり	委員 高瀬 勉
委員 五十嵐康博	委員 稲村壤治

議会選出監査委員

→ 山口勝士

比企広域市町村圏組合議会

→ 小川町・東松山市・滑川町・嵐山町・川島町・吉見町・ときがわ町・東秩父村の1市6町1村の議会から選出された18人で構成。消防・救急業務、斎場の管理運営、介護認定審査会・障害支援区分審査会・公平委員会にかかわる議会です。

高橋功人 田中照子

小川地区衛生組合議会

→ 小川町・滑川町・嵐山町・ときがわ町・東秩父村の4町1村の議会から選出された12人で構成。可燃物・不燃物などのごみ処理と、し尿処理にかかわる議会です。

高橋功人 大戸久一
笠原英彦 鈴木秀尚

チェック&バランス

一体感のある議会をめざします！

コロナ後の町経済の復活、進行する少子高齢化と人口減少、災害に強い持続可能なインフラ整備等。

今までの考え方や手法では、予想を超えて変化を続ける時代に取り残されてしまいます。

議会がやるべきこと、行政がやるべきことを明確にし、双方向の努力により「小川町プライド」を次代に引き継いでいきます。

新生議員一人一人が歩んできた道や考え方に違いはありますが、総力をあげ、信頼される議会を創っていきます。



高橋功人議長
(総務常任委員会)

田中照子副議長
(経済建設常任委員会)

9月5日から新たな任期をスタートさせた「新生小川町議会」。
猛暑の中で行われた選挙を経て「誕生」した期待の「新鋭」、
これまで以上の「議論」が今ここに「開会」する！

新鋭
Emerging talent
誕生
Birth
議論
Discussion
開会
Opening



議員紹介は
HPでも見られます

厚生文教 常任委員会

戸籍年金・国民健康保険、福祉・健康増進、高齢福祉、子育て支援、学校教育、生涯学習等に関する事務事業



委員長 高瀬 勉
副委員長 鈴木秀尚
委員 島崎隆夫
委員 田中立男
委員 笠原英彦

経済建設 常任委員会

環境対策・農林業、調査、都市計画、



委員長 稲村壤治
副委員長 田端良成

商工業の振興・観光、建設・地籍水道・下水道等に関する事務事業



委員 山口勝士
委員 大戸久一

総務 常任委員会

総務、企画・財政、防災・防犯、税務、会計等に関する事務事業



委員長 高橋さゆり
副委員長 五十嵐康博
委員 笠原規弘
委員 関根慶則
委員 岡部久志

100億6500万円

「決算議会」と称される9月定例会（9月28日～10月19日）は、町が前年度に執行した事業や「税金の使い道」をピックアップします。



←決算報告は
こちらからでも
見られます。
(広報おがわ11月号)

評価 いいね!



地域福祉委員の増員

87万円

地域の見守り活動強化や支援体制充実につながる地域福祉委員を委嘱している、社会福祉協議会への補助。

病児・病後児保育の展開

610万円

病気または病気の回復期にある、生後1歳から就学前までの児童を私立保育園に併設の病児保育室で一時預かり。

スモリバLINEクーポン実施

890万円

県内初、LINE「小川町情報スモリバ」を活用した電子クーポン事業。

空き家対策

「お試し暮らし体験住宅」の提供
60万円

移住希望者に対し、町内での生活を一定期間体験できる機会の提供。

空き店舗等活用補助金

75万円

店舗の改修及び家賃の補助。

スクールバスの運行

860万円

旧東小川小学校区児童の小川小学校への通学のためスクールバスを運行。

高齢者保健と介護予防
一体的事業

830万円

「自宅で自立した生活が送れる高齢者の増加」を目的に、生活習慣病の重症化予防とフレイル対策。

歯科口腔保健の推進

9万円

高齢者の一人暮らし調査時にリーフレット・歯ブラシセット配布、虫歯や歯周病予防啓発。

職員研修の充実

19万円

派遣研修に延べ64人、内部研修に延べ352人参加。

町色の取組

注目3

おがわん野菜の購入補助
魅力的な学校給食の提供と充実

決算額 14万6000円

給食に使用される「おがわん野菜」の割合は、年々増加している。

また、通常11月～翌年3月の間は町産米を使用。（4月～10月は埼玉県産米）

令和5年11月から農林水産省の「地産地消コーディネーター」の派遣が決定し、さらなる「おがわん野菜」の利活用が期待される。

Gikai's eye

安全・安心・安定の
給食提供を

「おがわん野菜と町産米」の割合を増やし、当町でしか味わえない自慢の学校給食の充実に期待する。さらには、学校給食センターの更新に向けた取組を加速させ、安全・安心・安定の給食提供を望む！



笑顔で完食「Very good!!」 榑台中2年1組の皆さん



エアコン設置で快適な町立保育園の調理室

注目2 ごみ減量化対策

可燃ごみ処理の
民間委託を開始

決算額 173万円

資源回収実施団体への奨励金や給食残渣の利活用事業への補助。また、職員による出前講座を行い、分別や生ごみ乾燥の推進など、啓発に努めた。



生ごみの量と重さを一気に減らす「生ごみ乾燥機」

さらなる減量化への取組を

民間委託で処理費用は大幅増となったが、可燃ごみの量は前年度比4%減少し、処理費用は約1000万円の削減となった。可燃ごみの減量はそのまま町負担の減につながる。さらなる減量化への取組を。

Gikai's
eye

監査委員の意見（抜粋）

税収増を

議会選出
前監査委員
大戸久一
おおとひさかず

の積み立ては前年度に比べ、約1億の増加で12億7000万円となった。引き続き事務の効率化や企業誘致を進め、税収を増やして自主財源を確保することが必要である。そして、公共施設の管理の適正化を進め、経費を削減することを望む。

《税収を増やし自主財源の確保を》

経費削減

代表監査
福島崇晃
あきしまたけあき

職員数の削減等、経費削減に努めてきたことは分かるが、高齢化と生産年齢人口の減少によって、税収が減り、社会保障関係費が増え、恒常的な財源不足が続いている。一方、町債は減少傾向で、令和4年度は前年度に比べ、約4億3300万円（5%）の減少である。また、財政調整基金（町

注目1

ふるさと納税
子ども応援事業等に活用

まちづくり寄附金
990件 2064万円
地方創生応援税制寄附金
（企業版ふるさと納税）
8件 750万円

まちづくり寄附金の約半分1067万円が「次代を担う子どもたちを応援する事業」への寄附で、図書の購入・トイレの改修・保育園の備品や電子黒板の設置等に使われた。企業版ふるさと納税は、東小川学校跡地の利活用及び道の駅リニューアルに充てられた。

Gikai's eye

寄附の増加を

まちづくり寄附金の収支は、約300万円のプラスになった。一方、他市町村への寄附で税収減も起きている。寄附の増加に向けたさらなる努力を。

Gikai's
eye

さらに期待!

地域防災訓練のさらなる展開

令和4年度の地域での実施は22回。地域を超えての合同実施や実情に合った、きめ細やかな内容などの工夫も出てきたが、さらに拡大を望む。

デマンドタクシーの継続

値上げへの一定の理解は得ているが、高齢者にとって影響が大きいのは事実。継続を求める意見が強いだけに、今後も丁寧な議論を望む。

景観モデル地区の案内表示

全体で27か所まで増加し、アクセス数も3倍になっている。町の重要な施策である観光に力を入れ、さらなる関係人口の創出を望む。

私たちの町、
どうなってる？



ただ
議員が質した

177
のこと

改選後、新たなメンバー・
議会体制で臨んだ初めての
定例会。令和4年度一般会
計をはじめ、各特別会計及
び公営企業（上下水道）会
計の決算総額は180億円超。
充実の「決算議会」から気
になるQ&Aを取り上げます。

Pick up!

防災訓練の
実施

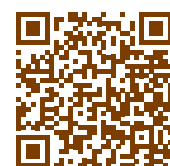
22回

地域福祉委員

156人

知っておきたい！この数字

9月定例会の会議録は令和5年12
月下旬から見られます。二次元バー
コードからインターネットで「小川町
議会 会議録」と検索



令和4年度一般会計決算

多様な住民ニーズに対応
職員の育成につなげる研修の充実を

Q 研修の充実と、職員の資質の
向上及び意識改革の達成等は。

A 町独自で実施する研修のほか、
国・県による各種研修に職員を派

幅広く
勉強

1年間を通し、基礎自治
体若手・中核人材育成
プログラムに参加し、
人事・政策・財政
について幅広く
学びました。

環境農林課
横瀬純也さん

遣し、その充実を図っています。
また、管理職には住民や議会に
対して適切に説明責任を果たした
め「報道機関対応・議会答弁」に
関する研修等を行い、多様なニ
ーズに対して、迅速かつ的確に対
応できる職員の育成に努めています。

不用額の増加

Q 前年度比で約1億100万円
増となっているが見解を。

A 事業ごとに予算に過不足が生
じないか、常に精査しています。事
業によっては、社会情勢や行政需

要の変化、制度改正などにより想
定していた予算が増減するので、適
切な時期に補正し調整しています。
それでも見通せなかった部分が不
用額として発生している状況です。

スマホLINEクーポン

Q 取組とその効果等は。

A 県内で初めてLINEを活用
した電子クーポン事業として取り
組みました。紙媒体の商品券と比
べると、印刷代や郵送費等のコス
トが抑えられ、その分の経費を割
引に係る予算に充てることで、全
体としての売上増加につなげるこ
とができました。

また、町内での消費喚起を促し、
事業者支援と消費者の負担軽減に
効果があったと捉えています。

スクールのバス運行

Q 令和4年度から統合された旧
東小川小学校区の児童の送迎用
に運行が開始されたスクールバスだ
が、運行の状況は。

A 運行規程に基づき「年間運行
計画書」及び「利用者名簿」を教
育委員会・運行業者と共有を図る
中で、学校の都合または悪天候等
により、登下校時刻・授業時間の
変更や、臨時休校を行う際には、
直ちに協議を行い対応しています。
乗降時はスクールバス支援員が乗
車名簿を確認し、安全な乗り降り
に配慮しています。

また、急な体調不良や児童同士の
トラブルなど、ドライバーにと
もに速やかに対応し、最終降車地
では、必ず車内を確認しています。

防災訓練の実施状況

Q 令和4年度の各種防災訓練の
実施とその成果等は。

A 地域の訓練等の実施は22回で、
そのうち町職員が参加した訓練は
6回です。規模の小さな地域単位
での訓練を数多く開催する中で、

個人・世帯における「事前の備え」
や「地域の実情に応じた、きめ細
やかな防災訓練」となりました。
自助・共助の意識の醸成につな
がったものと捉えています。

プライバシー
への配慮も重要な
視点となる



病児・病後児保育

Q サービスのさらなる周知や、
利用しやすくするための取組等は。

A 利用しやすくするための改善
点として、毎年の登録手続が必要
だったところを「一度の登録で小
学校就学前まで有効」とする旨の
改正を行いました。ひとり親家庭
や、祖父母の支援を受けることが
困難な共働き世帯を中心に、子育
てを応援するために必要な事業と
考えていますので、引き続き周知
に努めます。

小児初期救急医療の運営

Q 取組の内容や成果等は。

A 比企地域の9市町村で構成し、
15歳以下の子供に対する平日夜
間の1次救急を担う事業です。令
和4年度の利用件数は284件で、
そのうち小川町は7件でした。利
用件数は少ないですが、平日深夜
間における小児の初期救急医療体
制を確保することで、住民の健康
を守ることに、子育て支援を図
ることを目的とする本事業は、一
定程度の成果があると捉え継続し
ていきます。

やむを得ない

デマンドは本当に助かります。
500円は安いと実感していたので、
距離に応じてなどの見直しは
やむを得ないと。バスと併用し
ながら上手に使っています。
佐藤靖之・ツミ子
ご夫妻（中爪）



デマンドタクシーの継続

Q 予算時と比較して大幅な歳出
決算額が示された。事業の振り返り。

A コロナ禍で利用者数の動向把
握が困難であったこともあり、年
度内の増額補正で対応しました。
最終的には、予算と比較し約10
00万円の増額を要したところで
す。今後の安定かつ継続した事業
運営を図るため、利用料金（利用
者負担分）の見直しを進めています。

「いざという時のために！」町職員による指定緊急避難場所開設訓練



小川町HP（指定緊急
避難場所・指定避難所）

小川町議会だよりは

町民登壇に「タワール」

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます（裏表紙も）ご覧ください。

つづく！

可燃ごみの減量Ⅱ処理費用の減額 さらなる分別意識の向上を

Q 可燃ごみ処理費用の減額に向けた取組の推進や、住民等へのアプローチは。

A 令和4年度から、小川地区衛生組合として可燃ごみ処理を民間に委託しています。ごみの減量は比例して処理費用の削減につながるの、今後も地域への出前講座や生ごみ処理機への導入補助など、分別意識の向上や生ごみの減量化（乾燥させる等）について啓発していきます。なお、令和4年度の可燃ごみの量は「前年度比で4%削減され、処理費用も約1000万円の削減」が図られました。

このところ、雑がみや衣類の分別が意識されてきています。生ごみの水切りは、我が家ではネットを使っています。



最初の一步は
分別

環境美化推進委員
駒崎秋男さん
(東小川6丁目)

高齢者保健と介護予防

Q 令和4年度から取組が始まった「高齢者保健・介護予防一体的推進事業」の成果等は。

A 本事業の目的は「自宅で自立した生活が送れる高齢者の増加」で、生活習慣病の重症化予防とフレイル対策の推進を目標としています。

取組内容は1つ目に「個別的支援」として、健診結果のデータをもとに「低栄養」と「健康状態不明者」に対するアウトリーチ支援や、医療専門職による訪問・個別相談で保健指導を行いました。2つ目に「集団を対象とした支援」として「いきいき百歳体操」や「はつらつクラブ」の参加者を対象に「栄養」をテーマとした健康教育を行いました。いずれも、健康長寿に結びつけていく目的を見据えた取組がなつたと捉えています。

景観モデル地区の案内標識

Q 案内標識設置の効果等は。

A 令和4年度はモデル地区内の主要ポイント15か所に整備し、全体で27か所に設置されています。また、関連のガイドブック等にも掲載し、周知を図っています。標



観光やまち歩き等の来訪者はもちろんのこと、町民の皆さんにも広く利用されることを期待しています。



まち歩きマップ
小川町HP

二次元バーコードから
「まち歩きマップ」
が見られます



識には二次元バーコードが配され、ポイントごとに情報が表示される仕組みとなっています。今回の追加設置により、アクセス数も以前と比べて3倍（64回↓198回）と増えています。

歯科口腔保健の推進

Q 推進や啓発につながる取組は。

A 平成30年度に制定した「歯科口腔保健の推進に関する条例」に基づき、その保持・増進に努めてきました。正しい歯磨き習慣を身につけることで、虫歯や歯周病予防につながることは言うまでもな



フレイル予防応援
ポータル 埼玉県HP



町民の歯科口腔を守るために配られているケアグッズ。「健康」に関する事業に限らず様々な機会・イベントを通じて促進に努めています。

増加する空き家への対策

Q 「お試し暮らし体験住宅」の実績等は。

A 寄附された空き家一棟（件）を改修し、移住希望者に対して町内での生活を一定期間体験できる機会を提供しています。以前、入居していた夫婦は定住につながり、その後、現在は子育て世代の家族が利用し、小川町暮らしを体験しています。改修費用などの課題もありますが、今後も寄附物件を募り、体験住宅を増やしていけたらと考えています。

空き店舗の解消を

Q 空き店舗の利活用につながる各種補助金の動向は。

A 令和4年度はまだコロナ禍もあり、店舗の改修・家賃補助の実績は2件に留まりました。

一方で、令和5年度には、補助対象エリアの拡大と補助の増額を図る中で4件（令和5年11月15日時点）の実績を有し、着実に空き店舗の活用へとつながってきていると捉えています。

地域福祉委員の増員

Q 担い手の現状等は。

A 平成28年度の12地区41人の設置を皮切りに、令和4年度末では55地区156人となり、委嘱人数は順調に増えています。

また、民生・児童委員を経験した方に地域福祉委員を引き受けてもらうケースが多くなっています。登録人数の増加が地域の課題解決や地域福祉の推進につながると捉えていますので、今後も未設置地区にその必要性を理解してもらえようように働きかけていきます。



地域のお役に

「少しでも地域のお役に立てれば」と思って活動しています。

地域福祉委員（腰二）
山神正弘さん（左）
馬場美知子さん（右）



小川町議会だよりは

見出しに「コダワル」!

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

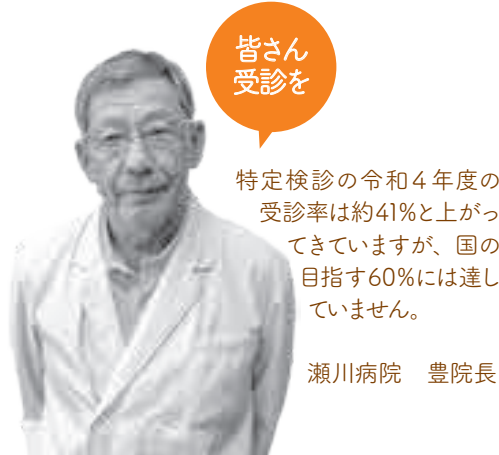


親としては、重度心身障害者を介護しながらの会計手続きは大変でした。令和6年度より現物給付になることで、利便性が向上して大助かり!

Q 特に「ケアマネジャー」への支援や、取り巻く現状は。
A 地域包括支援センター（社協）では、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう多職種

の連携を図っています。個々の高齢者の状況や変化に応じ継続的な支援をするため、ケアマネジャーに対して個別の指導や相談、支援困難事例等への助言を行っていま

介護保険 特別会計決算 包括的支援の取組



皆さん
受診を

特定検診の令和4年度の受診率は約41%と上がっていますが、国の目指す60%には達していません。

瀬川病院 豊院長

Q 現在の人間ドックと併進して脳ドックを実施する考えはないか。
A 県内でも人間ドックとの併進ドックとして実施している市町村はありますが、予算上、補助額2万円を据え置く場合に自己負担額が増えてしまい、人間ドックの受診率が下がってしまう恐れがあります。過去に庁内でも検討した経緯がありましたが、「特定健診」と「がん検診」を併せて受診することで、脳疾患を起因とする生活習慣病の予防に効果があると捉えているので、引き続きこれらの併用受診に取り組んでいきます。

Q さらなる受診率向上につながる方策等は。
A 40歳から74歳の被保険者が対象で「内臓脂肪型肥満」に着目した健康診査を実施し、生活習慣病を予防することを目的としています。受診率向上の取組として、ポスター掲示・のぼり旗の設置をはじめ、町公式X（旧ツイッター）の活用や、職員が啓発用ポロシャツ・ジャンパーを着用するなどして努めています。

また「ナッジ行動理論」を応用し、対象者に即したアドバイスが付された勸奨ハガキを送付し、受診を促しています。令和5年10月31日時点の受診率は11%となっています。

町の受診率目標
60%!



国民健康保険 特別会計決算 新型コロナウイルス感染症の影響は「2類相当」最終年度における健康・医療

特定健康診査の受診率向上

収入未済額の増加

Q 令和4年度は前年度比で10%近く増えてしまっているが、背景等は。
A 一般会計の個人町民税と同様に「コロナ禍における給付金の影響」で、所得の増加に伴い課税額も増えてしまったために、納付が

困難となった事案が影響しているものと考えています。
また、元来、国民健康保険の構造的な課題として、世帯収入や加入者の年齢構成等、財政基盤は脆弱であり、資力のない世帯も増える中で収入未済額が増加したものと捉えています。



特定健診のご案内
小川町HP

ポロシャツ・ジャンパーを着用しているのは健康福祉課に限りません。クールビズ・ウォームビズにもつながる取組で啓発に努めています。

その他の条例改正 受給者の利便性向上へ 重度心身障害者医療費の現物給付

Q 不納欠損額は減少したが、収入未済額は増加している。背景等は。
A 訪問徴収の頻度「増」

A 夜間や休日に実施した納付相談・臨宅徴収・電話での催告などの成果として、不納欠損の減額につながったと考えています。一方、収入未済額の増加は、新型コロナウイルスの影響による訪問徴収等の減少が要因と捉えています。今後は感染状況などを総合的に判断し、徴収の機会・頻度を増加させ、収入未済額の圧縮に努めます。

Q 条例改正に至った経緯等は。
A 令和4年度に埼玉県が、県の医師会・歯科医師会・薬剤師会と、県内医療機関を受診した場合、「現物給付」を行うこととする協定を結びました。町としても、この流れに伴って、現物給付の実施の可能性について検討を続けてきました。町全体の事業を精査する中で、令和6年度からの実施に向けて改正をお願いするものです。

Q 当町における対象者数や負担額等は。
A 令和4年度の実績として、対象者は573人で医療費の合計は4966万円となっています。

また、今条例改正に伴う財政負担増の見込みは、年間で給付額890万円・審査支払い手数料70万円となり、合計で960万円程度の増額を予定しています。



小川町議会だよりは

文字にコダワル！

高齢者や視覚の弱い方にも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用します！

つづく！

全質問項目は小川町ホームページから見られます。議会だよりでは議員ごとに要約版で掲載。全文（会議録）は令和5年12月下旬に公開予定です。



9の視点 一般質問

「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言も交え、町に考えを質す。

初議会で一般質問に挑戦！ ベテラン議員の一問一答の妙！

久しぶりに復活した「発言席」から届ける質問の数々に注目ください。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



P.17 変化する町

P.17 学校給食費

P.16 ユーチープ

P.16 災害対策

P.15 パトリア

P.15 駅北側整備

P.14 脱炭素化

P.14 赤字決算

P.13 地方創生

Q 当町では、国の地方創生推進交付金を活用し、3年間にわたり「まち×ひと×プロジェクト」を実施してきた。令和5年度も事業予算を計上し、既に半年が経過している。活発な動きが見えないが現状は。

A 政策推進課長 当プロジェクトは、昨年度の地方創生推進交付金の終了により一区切りになりました。本年度は3年間の成果や課題を整理したうえで、プラットフォーム参加者を中心にイベント等の事業を展開する予定です。

Q 交付金活用の狙いとして「自立性」や「事業主体の形成」等が求められているが、プロジェクトの持続可能性と出口について考えを。

A 政策推進課長 コロナ禍の状況に応じた判断をする事項も多く、



実行委員会が実施したおがわのぐるり市



い が ら し や す ひ ろ
五十嵐康博議員
が町に問う！

地方創生
推進に向けた
活発な動きを
答弁 成果や課題を
整理し実施します

一部会費制の導入を実施したものの、自主財源になりえる状況までには至っておりません。

また、コロナ禍により実際に顔を合わせた交流機会の減少なども影響し、なかなか事業推進主体となりえる組織を形成するのは難しかったと考えています。

継承よりも時代に合った新しい議会運営を。改革に期待します。「傍聴に行きます」
(N・Mさん 70歳)



Vol.23
新生議会に
期待することは？

Mini Interview P17までつづきます！
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」

令和5年度一般会計補正予算 放課後児童の安心安全な居場所へ 学童クラブ支援員の処遇改善

Q 国・県の補助を受け、学童クラブ支援員の処遇改善に係る費用増が示された。各支援員の賃金について、どの程度改善が図られるのか。

A 運営面は各学童クラブにお願いしていますので、基本の給与等に差はありますが、当初予算及び今回の補正増を含めると、正規職員で月額5000〜2万円、パート・アルバイトで時給200円程度の上昇を見込んでいます。

武道館剣道場「床」の修繕

Q 当初予算では武道館の雨漏り対策として予算の計上があったが、追加で示された修繕の詳細は。

A 利用者から、剣道場の床面に「ささくれ箇所」があるとの報告を受けました。

また、床のワックスが剥がれているとの情報もありましたので、修繕を図るものです。

「道の駅」周辺整備

Q 道路右折帯の整備設計委託料が示されたが、その実現性等は。

A 地域の要望として、国道254号における右折帯の必要性について指摘を受けています。再整備後は、現在と比べてかなり多くの来客数を見込んでいますので「交通の円滑化」は重要と捉えています。スムーズな右折をどのように誘導するかなど、県警察・小川警察署・道路管理者（県）等と協議を進めていくために、測量や図面の作製が必要となりました。

Q 周辺整備に係る工事設計についての内容等は。

A 道の駅の隣接地に駐車場の拡張を検討しています。また、南側にある砂利の臨時駐車場の測量や、県が進める「水辺 de ベンチャーチャレンジ」事業の関連で、遊歩道の整備を町で行うことになって

いますので、それらを含めた工事設計を予定しています。臨時駐車場を有効活用し、家族で過ごすもらえる場の設定等も含めて検討していきます。

当協議会では町民の皆さんや観光に訪れる方々も広く利用でき楽しんでいただき、そして「また来たい」と思ってもらえる取組を進めています。

これをチャンスに道の駅〜仙元山〜下里エリア（見晴らしの丘公園、カタクリなどの春植物、国蝶オオムラサキ、有機農産物、旧下里分校、し尿処理場跡地、道の駅臨時駐車場など多くの素材）の整備・利活用に期待を膨らませています。

小川・下里地区槻川水辺活用調整協議会長
内野幸一さん（下小川三）

膨らむ期待

公開します

議決結果はHPでも見られます→

審議した主な議案



議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対
一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他8議案も
全員賛成で原案どおり
「可決・認定」しました



議 案 名		議 員 名														審 議 結 果		
		田 中 立 男	関 根 慶 則	岡 部 久 志	田 端 良 成	稲 村 壤 治	鈴 木 秀 尚	五十嵐康博	笠 原 規 弘	大 戸 久 一	田 中 照 子	笠 原 英 彦	高 瀬 勉	高 橋 さ ゆ り	山 口 勝 士	島 崎 隆 夫	高 橋 功 人	
令和4年度決算の認定	一般会計	100億6500万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	国民健康保険特別会計（事業勘定）	35億9600万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	後期高齢者医療特別会計	4億6000万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	29億2000万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

一般質問

赤字決算



たばたよしなり
田端良成議員
が町に問う！

実質単年度収支が赤字では
答弁 健全化が必要な団体には該当しません

Q 総務省ホームページにある決算カードを見ると過去21年にわたって、当町の実質単年度収支が赤字であるが。

A 政策推進課長 決算カードは、全国の地方公共団体の決算概要について公表したものです。基金の積立や地方債の繰り上げ償還など未来に影響を及ぼす要素を除いて実質的な単年度の収支を表した数字です。その分を含めて計算すると過去21年間で、赤字は11回、黒字は10回となります。健全化判断比率②から見ると、当町は健全化が必要な団体には該当しません。

道の駅リニューアル

Q 道の駅おがわまち再整備基本計画では、30分商圏（ミニ観光商圏）を約33・4万人と見込んでい



環境に配慮した移動手段を検討（周辺整備）

る。人口減少の中、10年後の長期収支シミュレーションに影響を与えるのではないかと懸念されている。

A にぎわい創出課長 基本計画書にある長期収支シミュレーションには、人口変動やインフレ率など変数設定はされていません。それらの変動幅については、その都度、管理運営事業者と適切に対応します。

脱炭素化



すずき ひでなお
鈴木秀尚議員
が町に問う！

エネルギーの地産地消を
答弁 チームを作って取り組んでいます

Q ゼロカーボンシティ実現のためにエネルギーの地産地消が有効。当町の中でモデル地区を定めて取り組めないか。

A 町長ほか 無償化には7000万円の財政負担が生じます。子育て支援として、第三子からの無償化を実施していますので、第一子第二子の食料費は保護者負担をお願いしているところです。

Q 環境農林課長 庁内に立ち上げた「地域脱炭素事業推進チーム」での取組を進める中で必要に応じて考えていきます。

また、町村間の競争になってもいけないので、町村会としても、県に要望書を出し無償化を求めています。

給食費の無償化

Q 物価高の中、子育て世代の負担軽減と移住希望者へのアピールになるので、無償化の流れがある今こそ実施できないか。



住民が出資し合って作った発電所

駅北側整備



かさはらのりひさ
笠原規弘議員
が町に問う！

とどまっている事業の推進は
答弁 諦めることなく取り組んでいきます

Q 南北出口を結ぶ自由通路は「どのような設計①」か。

A 都市政策課長 駅南口のコンビニ北側付近と小川高校体育館西側を結ぶ自由通路です。改札口は橋上駅化工し、自由通路からアクセス可能な設計です。

Q どのような駅北側整備を計画しているのか。

A 都市政策課長 町道5090線（小川高校南側の道路）は2車線に拡幅し、歩道を整備する予定です。体育館西側にバスの乗り入れが可能なロータリーを整備する計画です。

Q ダイヤの改正を危惧するが、小川町駅の乗降客数の推移は。

A 都市政策課長 1日当たりの乗降客数は2018年で9899人、2022年で7759人です。



「志あるところ道は必ずひらける」

パトリア



たかはし
高橋さゆり議員
が町に問う！

浴室・プールの施設転換は
答弁 施設転換に取り組める状況ではありません

Q パトリアの浴室・プールの休止は「介護予防・健康増進に取り組める施設に転換する」と説明してきたが。

A 長生き支援課長 転換については、現在取り組んでいる事業の進捗や施設自体の老朽化への対応、町の財政状況などの観点を踏まえ、どのようにすべきかを十分に考える必要があると認識しています。

Q 総合福祉センター運営懇話会では、どのような話し合いがあったのか。

A 長生き支援課長 「障害者や高齢者もできる軽トレーニング施設」「多世代が交流できるスペース」「災害時に必要な備蓄品倉庫」等の意見がありました。

Q 大規模な設備の更新と多額の予算確保が必要との答弁だが、公



施設転換を待つ旧プール側

◆その他の質問
障害者の就労支援

夢の実現のため、話せる英会話教育をしてください。
(I・Kさん 12歳)

YouTubeとか動画での発信にもチャレンジしてほしいな。
(O・Jさん 36歳)

それぞれの持ち味を発揮できる「チーム小川町議会」!!
(S・Nさん 62歳)

議会に新風を!! 有言実行・公約達成を期待します。
(O・Yさん 77歳)

子供たちが住みやすい町、住み続けたいと思う町づくりを。
(O・Nさん 39歳)



しまぎきたかお 島崎隆夫議員
が町に問う！

災害対策

発災時における情報伝達は
答弁 手段の多重化が求められています

Q 災害対策の現状は。
A 防災地域支援課長 災害対策で重要なことは「自助・共助・公助」の底上げによる「地域防災力の強化」です。自助・共助の啓発を図るため、規模の小さな地域単位での防災訓練を促し「顔が見える地域コミュニティ」と「地域特性に応じた備え」の重要性を共有しています。また、公助の強化は、災害用資機材や備蓄消耗品の計画的な整備・町職員による指定緊急避難場所の開設訓練・民間団体等との災害時協定の締結などを図っています。

へのメールや電話による伝達が中心となりますが、防災行政無線等と併せて行うことで、漏れのない情報共有が図れると考えています。一方で、通信速度の低下や、通信そのものが行えなくなる等を想定し、あらかじめそれらのリスクを回避しておくことも重要と捉えています。国や県からも「情報伝達手段の多重化」が求められています。

A 防災地域支援課長 発災時の情報伝達について最も重要なことは「速さと正確性」です。各地域に向けた共有方法としては、区長



消火栓の管理も備えの一つ



いなむらじょうじ 稲村 穠治議員
が町に問う！

YouTube

町長チャンネル立ち上げを
答弁 今後どうあるべきか考えていきます

Q 映像を活用し、当町の現状や未来を伝えるチャンネルをつくるべきと考えるが。
A 総務課長 現在、広報おがわ、ホームページ、X(旧ツイッター)で情報発信しています。YouTubeを活用した町長の発信については、今後どうあるべきか考えていきます。

ChatGPTの導入
A 職員の負担軽減に向け導入を。政策推進課長 正確かつ安全に活用できれば、業務効率改善が期待されます。一方、AI戦略会議では、さまざまなリスクにどう対処すべきか議論されています。



解体工事が始まった道の駅おがわまち



たなかたつお 田中立男議員
が町に問う！

学校給食費

無償化に向けた考えは
答弁 現時点で実施する予定はありません

Q 子育て世代の人たちにとって歓迎されると思うが町の考えは。
A 学校教育課長 無償化は、少子対策としての効果を見極める必要があるとともに、財源確保が必要となります。したがって現時点で実施する予定はありません。

町のにぎわい復活に向けて

Q 町訪問者数の把握の一手段として、駅利用人数の把握ができるのか。
A 都市政策課長 駅に確認したところ、年間乗降客数のデータ提供は可能とのことです。今後確認していきます。

Q 駅構内にある地場産品の展示について、見直しや工夫は。
A にぎわい創出課長 駅は当町の玄関口であり、PRには大変重



展示の充実でさらなるPRを



やまぐちかつし 山口勝士議員
が町に問う！

変化する町

広がる「面白い」の実感は
答弁 取組の成果は表れてきています

Q LINE「小川町情報スモリバ」は、町が面白くなってきたことを実感させてくれるが。
A 政策推進課長 町のファンを増やすことを目的に実施しています。令和4年4月1日時点では1607人の登録者でしたが、令和5年9月現在は9300人。町の情報の発信だけではなく、町内企業や団体の情報発信の手段としても利用され、町の公式な発信媒体とは違う多彩な内容を発信してくれています。

Q 今後の町づくりのポイント。
A 政策推進課長 町内外の方の当町への見方や人の流れが変わりつつあるのではと感じています。例えば社会増減(転出入の増減)は平成28年度は151人減。その後も200人近い減が続いていましたが、令和3年度は31人・令和



若者未来会議主催「まちあるき×謎解きゲーム」

「激変の時代」今までの考えや形を守るだけでは発展はありません。果敢なチャレンジを！(Z・Tさん 76歳)

新体制議会になり、少しずつ改革されていくことに期待しています。議員の手腕の発揮を！(M・Eさん 74歳)

50年後の人たちから感謝されるような政策をお願いしますね。(S・Yさん 22歳)

小川町に住んで子供を産み育てていきたいと思う町づくりを期待しています。(I・MHさん 40代)

10/27 開催 第1回 議員意見交換会からの報告

Point 1 自由に意見が言える場所へー

情報の共有化と認識の共通化

【議員意見交換会等の定期開催】

これまでも全員協議会等の場を通じて、様々な情報を共有してきた。他方、議員経験の多寡により、同じ情報でも受け取り方に差異が生じていたことも事実。16人の過半数が2期以下となった今期の議員構成にとって「自由討議」の機会を増やすことは重要である。

Point 2 「個」の議員×16＝「全」の議会へー

議員の資質向上と一体感のある議会

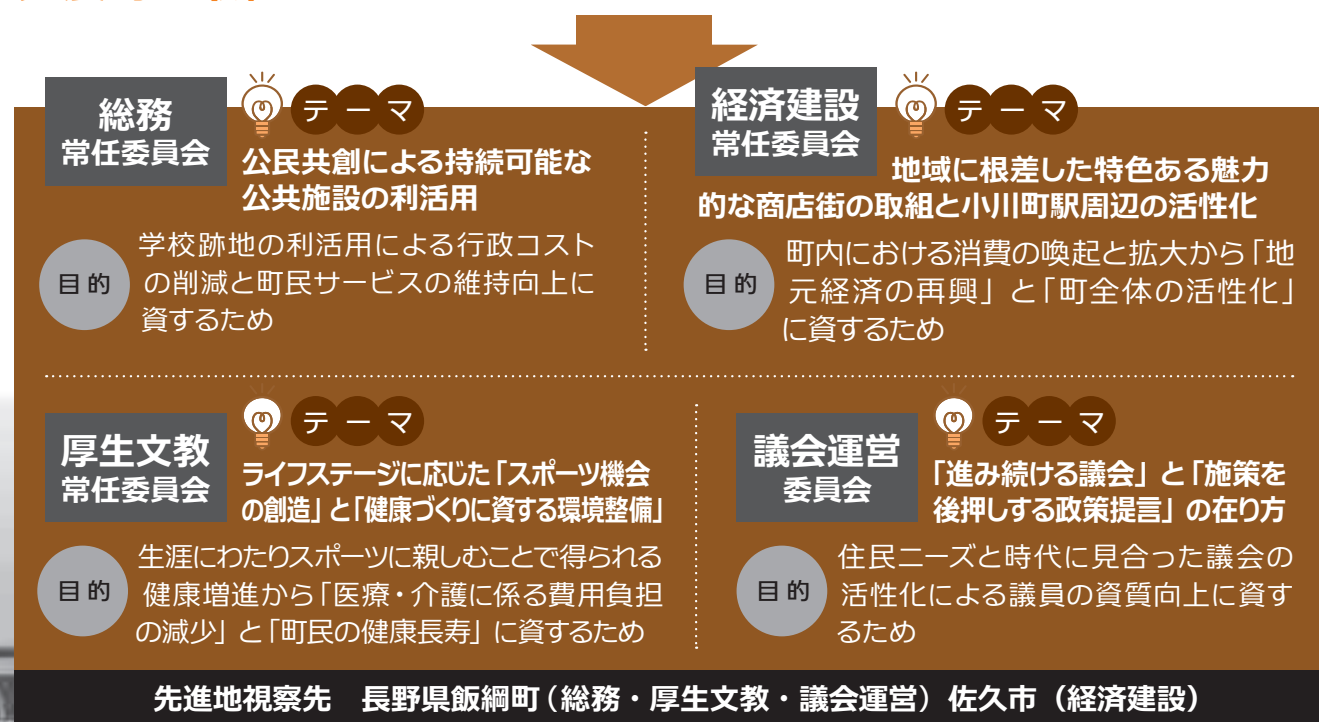
【調査研究や研修機会の確保】

これまでも常任委員会・会派・個人など、単位は別にしても相応に学ぶ機会は確保してきた。他方、議会の活性化・改革を図る上で必要な知識・技術に特化した研修は皆無。多様化する住民ニーズに「即応する議会」の構築は急務である。

Point 3 常任・議会運営・議会広報発行に係る各委員会の充実へー

委員会の機能強化と発展的な取組

これまでも各委員会の職務や役割を全うし、行政・住民とともに歩んできた。他方、現代社会にマッチした取組が果たされているかという疑問。議会や行政の課題解決につながる「提言能力」の向上は必須である。



改革・活性化の歩み（平成18年以降）

- 2006 平成18年12月
定数削減20人→16人
- 2018 平成30年7月
議長から議会運営委員会に「人口規模に見合った議員数の検討」について諮問
議員研修会「地方議員の定数問題と議会改革の在り方」講師：専修大学法学部 小林弘和教授
- 2019 平成31年3月
議会運営委員会から議長に「人口規模3万人において住民サービスを十分に提供するためには議員数16人が妥当である」と答申
- 2020 令和2年5月
「コロナ禍にある議会の在り方」を模索
一般質問の時間短縮（75分→60分）・議案質疑の事前通告制など
- 2023 令和5年10月
「議会の活性化」を目途とした「議員意見交換会」の定期開催を決定

特集3 新シリーズ

16人の一歩!!

活性化を進み続ける議会

「議会改革」が叫ばれて久しい。多くの町民が期待する「議会改革」を短期間で実現することは容易ではない。しかし、今夏の選挙で町民から負託を受けた16人は、まずは、議員全員で町の施策や課題、目指すべき方向性などを徹底的に議論し、情報の共有化を図る。また、議会改革については、合意できたことから具体的に手続を踏み実施していく。今後、議員間討議の状況を見える化し、町民の皆さんに示していきたい。（発行責任者）

一部事務組合議会から報告

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会・公平委員会

比企広域市町村圏組合議会（令和5年8月9日）

生活を支える重要な役割が広域で実施されています
一般会計及び各特別会計の歳出決算の総額は約34億円で、小川町の負担額は約5億円となりました。令和6年4月より飯能日高消防署内に4組合（埼玉西部・坂戸鶴ヶ島・比企広域・西入間）合同の指令センター「埼玉西部地域消防指令センター」がスタートします。その準備も進められました。新しくなった斎場も本格稼働、ペットの火葬も増加しました。

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。構成市町村の議会から議員を選出しています。

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会（令和5年8月7日）

バイオガスプラント施設の見学会を開催
令和4年度一般会計の歳出決算は13億2100万円で、小川町の負担額は約4億6300万円となりました。「可燃ごみ処理の民間委託」の初年度は、寄居バイオガスプラント施設の「軽微な故障」や「ばや」に見舞われ、スムーズな処理（発酵）が進まなかった期間もありました。住民対象に同施設の見学会等も適宜開催していますので、ともに事業の進捗をチェックしていきましょう。

全員で踏み出す一歩

Back to おがわぎかい No.108

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー



興味をもてる
内容です！

高橋永和さん (能増)
TAKAHASHI Towa

前号 (No.108) を読んだ率直な感想を

私も泥だらけになってやったので、しろかきを楽しむ八和田小学校児童の表紙写真を見て、懐かしく思いました。

—ズバリ、議会・議会だよりに物申す?!

議会や議会だよりもそれほど関心がなかったのですが、これをきっかけに興味をもてたいです。小川町の現状がわかる内容でよかったです。

高橋さんイチオシの記事はP.2～3「地域の実情に合わせて町が選んだ事業はコレだ!」



Gikai's comment

若い方々も関心をもてる議会だよりを心がけていきます。小川町のよさを実感できるよう頑張ります。

わたしのコメント
町民の声、「聴きます×つなぎます」

だから 小川が好き！

町への想いを寄稿していただくコーナー

小川町の
清流と山並みが大好き

鯨井 均さん (腰上)
KUJIRAI Hitoshi



腰上区は、恵まれた山々に囲まれた自然豊かな地域です。笠山・笹山・堂平山を源に栗山川・館川の清流の細流の音を聴きながら暮らせる素晴らしいところです。

夜は星空を眺め、日の出前は朝焼けに感動し、清々しい気持ちで一日を迎えられる環境に感謝しています。この素晴らしい自然を町内外の多くの方に知っていただき、豊かな森林を子孫に受け継がれていくことが私の夢であり、仕事だと思います。

林業に関心を持ち、森林の土砂災害防止や環境保全を理解し、夏は清流で川遊び、通年で豊かな森林で森林浴やハイキングを楽しんでください。

新編集委員から ひとこと



高瀬 勉 委員

前メンバーから唯一の居残り…留年。今度こそ卒業できるよう研鑽に励む！



高橋 功人 発行責任者

前進を続ける議会の様子をお伝えしますので、叱咤激励の声をお寄せください。



関根 慶則 委員

ひとりの読者から編集する立場になりました。どうぞよろしくお願いいたします。



山口 勝士 委員長

大変だ!「いいものを作りたい」思いと実力がかみ合わない。頑張るぞー!



岡部 久志 委員

多くの皆さんに議会の活動をわかりやすく伝えていきます。



鈴木 秀尚 副委員長

議会を振り返ることによって、事業の意味合いや各議員の思いを再確認できました!



田端 良成 委員

一期一会。議員になり、編集委員になりました。新たな機会に感謝!

12月定例会は **11月30日(木)** から開催しています ※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ

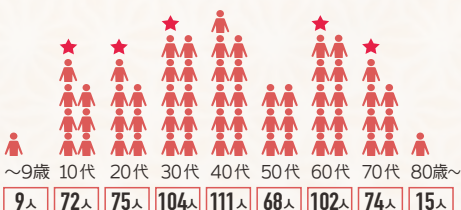


議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ (★印は今号取材)

630人

※No.80以降の合計人数



・今号の表紙・
もうすぐ1年生
「七つの祝」

11月8日に各公民館が主催した七つの祝いイベントで、元気いっぱいの子供達に触れた。もうすぐ1年生!おっきなランドセル背負えるかな!?

発行責任者：小川町議会議長 高橋功人

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 山口勝士 副委員長 鈴木秀尚

委員 高瀬 勉・関根慶則

岡部久志・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD (ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています